

ツユクサ (露草)

名前の意味：花びらに露が宿る草の意味か？ 古代には「つきくさ (月草)」という名前で知られていた。ツユクサはそのなまりとも考えられている。

分類：単子葉類、ツユクサ科、ツユクサ属

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた、田んぼのあぜ

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：厚くて水気の多い葉、茎にある白いさや、青い2枚の花びら。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：離弁、3裂 (1枚は小さくてよく見えない)

花の時期：7 - 10月

食べ方：茹でておひたしにして食べる

見分け方：トキワツユクサは、茎がはい、よく根が出る。花は3弁で白い。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)